

平成 26 年度事業報告

実務修習について

(1) 実務修習の実施状況等

① 実務修習生の在籍状況

第 9 回実務修習は平成 26 年 12 月から、101 名の実務修習生を迎えて実施されております。第 8 回実務修習までの実務修習生を加えた平成 26 年 12 月 1 日現在の実務修習生の在籍総数は 296 名で、その内訳は次表のとおりです。

回 コース	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
1 年	1	0	5	9	73	69
2 年	3	2	10	51	39	32
3 年	0	0	0	1	1	0
小計	4	2	15	61	113	101

② 各課程の実施状況

実務修習の各課程の実施状況は、次のとおりです。

なお、実務修習生の各課程の単元の認定に当たっては、実務修習審査会を 7 回亘り開催し、課程別の審査基準に基づき、それぞれ適正に審査を実施いたしました。

ア. 不動産の鑑定評価の実務に関する講義（以下、「講義」という。）

	開催日	開催場所	主な対象者
後期	平成 26 年 6 月 5 日(木) ～6 月 7 日(土)	JA 共済ビル カンファレンスホール	第 8 回修習生
前期	平成 26 年 12 月 4 日(木) ～12 月 6 日(土)	ベルサール御成門駅前	第 9 回修習生

イ. 基本演習

	開催日	開催場所	主な対象者
第一段階	平成26年4月11日(金) ～4月12日(土)	ベルサール神保町(東京)	第8回修習生
	平成26年4月18日(金) ～4月19日(土)	天満研修センター(大阪)	第8回修習生
第二段階	平成26年8月22日(金) ～8月23日(土)	ベルサール西新宿(東京)	第8回修習生
	平成26年8月29日(金) ～8月30日(土)	新梅田研修センター(大阪)	第8回修習生

ウ. 実地演習

実務修習生の物件調査実地演習及び一般実地演習の報告は、1年を3期に分け、実務修習生が選択した実務修習期間別に報告が行われました。

(2) 修了考査の実施

第8回修了考査は、平成27年1月27日(火)から1月30日(金)までの期間で実施いたしました。実務修習の全課程を修得した実務修習生148名が受験し、136名の実務修習生が実務修習を修了いたしました。

(3) 平成26年度実務修習実施計画の公表

実務修習業務規程第6条の規定に基づき、第8回実務修習の実施に向けて、「平成26年度実務修習実施計画」を策定し、平成26年9月に本会Webページにおいて公表いたしました。

(4) 実務修習教材の作成

第9回実務修習に向けて、講義、基本演習及び実地演習の各課程の教材が、平成26年11月1日施行の不動産鑑定評価基準等改正に適合するよう鑑定評価基準委員会と連携のうえ検討を行い、各課程のテキストを改訂・作成いたしました。

(5) 実務修習指導鑑定士研修の実施

前年度に引き続き、実地演習に係る指導鑑定士及び指導鑑定士登録予定者等を対象として、実地演習の指導内容等について整合性を図ること等を目的とする実務修習指導鑑定士研修については、JAREA e-研修において、実施いたしました。

平成26年度実務修習特別会計決算書

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
修習料収益	34,218,400	39,586,800	△ 5,368,400
講義料収益	11,880,000	14,410,000	△ 2,530,000
基本演習収益	12,312,000	13,932,000	△ 1,620,000
審査料収益	10,026,400	11,244,800	△ 1,218,400
修了考査料収益	4,440,000	4,380,000	60,000
修了考査料収益	4,440,000	4,380,000	60,000
雑収益	4,415,800	409,000	4,006,800
雑収益	4,415,800	409,000	4,006,800
経常収益合計	43,074,200	44,375,800	△ 1,301,600
(2) 経常費用			
事業費	50,044,398	52,364,165	△ 2,319,767
給料手当	14,280,176	14,130,440	149,736
旅費交通費	2,164,942	2,367,886	△ 202,944
通信運搬費	1,560,888	1,435,697	125,191
消耗品費	117,646	127,425	△ 9,779
印刷製本費	4,952,982	4,656,219	296,763
光熱水料費	273,840	268,020	5,820
賃借料	3,933,816	3,828,480	105,336
設備賃借料	520,104	520,104	0
会議費	6,826,571	8,997,804	△ 2,171,233
修繕費	237,624	231,024	6,600
諸謝金	12,258,600	12,940,200	△ 681,600
委託費	735,004	662,340	72,664
業務委託費	1,326,248	1,501,171	△ 174,923
支払手数料	70,899	95,655	△ 24,756
租税公課	621,870	601,700	20,170
雑費	163,188	0	163,188
経常費用合計	50,044,398	52,364,165	△ 2,319,767
当期経常増減額	△ 6,970,198	△ 7,988,365	1,018,167
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,970,198	△ 7,988,365	1,018,167
一般正味財産期首残高	24,524,476	32,512,841	△ 7,988,365
一般正味財産期末残高	17,554,278	24,524,476	△ 6,970,198
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	17,554,278	24,524,476	△ 6,970,198

貸借対照表
平成27年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	39,153,118	50,283,948	△ 11,130,830
前払金	2,867,284	1,842,063	1,025,221
流動資産合計	42,020,402	52,126,011	△ 10,105,609
2.固定資産			
(1)特定資産	0	0	0
(2)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	42,020,402	52,126,011	△ 10,105,609
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	24,306,200	27,455,800	△ 3,149,600
預り金	159,924	145,735	14,189
流動負債合計	24,466,124	27,601,535	△ 3,135,411
2.固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	24,466,124	27,601,535	△ 3,135,411
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
2.一般正味財産	17,554,278	24,524,476	△ 6,970,198
正味財産合計	17,554,278	24,524,476	△ 6,970,198
負債及び正味財産合計	42,020,402	52,126,011	△ 10,105,609

財産目録

平成27年3月31日

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
流動資産	普通預金 前払金	みずほ銀行虎ノ門支店	運転資金として	39,153,118
		(株)大阪国際会議場他	実務修習会場予約金の前払金	2,673,317
		山下建築設計事務所他	実務修習に係る建物図面作成料	162,000
		日本郵便(株)他	実務修習に係る資料送料他	31,967
流動資産合計				42,020,402
固定資産	特定資産			0
	その他の固定資産			0
固定資産合計				0
資産合計				42,020,402
流動負債	前受金 預り金	平成27年度実務修習受講料 源泉税	講座、セミナー、育成の実務修習の業務に使用する 翌事業年度受講料	24,306,200
			謝金に係る源泉税	159,924
流動負債合計				24,466,124
固定負債	固定負債			0
固定負債合計				0
負債合計				24,466,124
正味財産				17,554,278

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。